

学校評価アンケート結果報告

平成 31 年 1 月
大阪高等学校

本校では、よりよい学校づくりを目指して改革を続けております。さらなる教育の環境整備と質的向上、教育成果の向上のために様々な取り組みを重ねて参りました。その成果を確認するとともに、更なる改善に向けた課題形成を図る機会として本年度も学校評価アンケートを実施しました。集計結果に分析を加えて、学校改革・教育改善の進捗をお伝えすべく本書面をまとめました。ご高覧のうえ、ご意見等を頂戴できれば幸甚です。

学校長 岩本信久

凡例と集計方法について

凡例：■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う

集計結果は、特に断りがない場合、「わからない」を除いた有効回答を分母とした百分率で表示しています。グラフ中の数値は小数点以下を四捨五入しているため、表示が一致しないことがあります。今後も情報発信の充実を図り、教育意図の説明をはっきり行うことで、皆様からご明確なご判断を仰げるように努めて参ります。

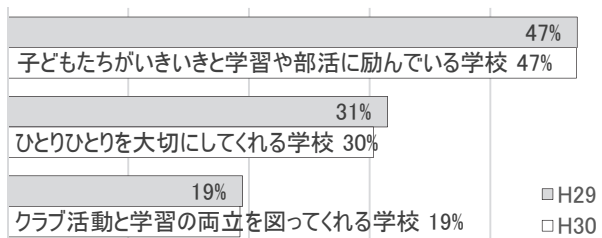
9割超が、本校に入学させて良かった



「大阪高校に入学させて良かったか」という質問で総合的な満足度をお尋ねしました。過年度から引き続き、肯定的な回答が占める割合は 9 割を維持しています。満足度に与える寄与度が特に高い、「誠実対応」「学習指導」「進路指導」を中心に更なる教育活動の改善を図り、本校を選択して下さった方より多くに満足してもらえる学校を目指します。満足度への寄与度はコース・学年による違いもあり、それぞれが期待を不安の度合いを映す鏡と理解し、ニーズに応じた教育リソースの最適配分を図りつつ、より良い学校経営を目指して参ります。

あったかい学校であり続けます

Q 本校の特徴として次のどれが当てはまるとお思いますか。

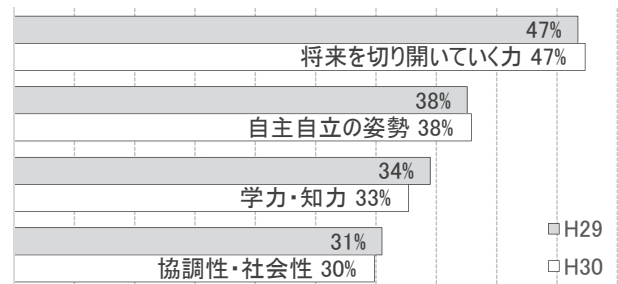


本校の特徴は何かという問いに、保護者の 47%が「いきいきと学習や部活に励んでいる学校」を、30%が「ひとりひとりを大切にしてくれる学校」を選びました。3 番目は「部活と勉学の両立を図ってくれる学校」です。大高は今後も、生徒と先生が一体となった「あったかい学校」であり続けます。なお、上位 3 項目の次には「進路指導がしっかりとされる学校」「自立心を養ってくれる学校」が並びました。これらの期待にも引き続きしっかりと応えていきます。

将来を切り開く力を養うのが学校の使命

子どもに獲得させたい資質として最も多くの保護者が選んだのは「将来を切り開いていく力」(47%)です。この成果を端的に表す指標である「お子様は、学校生活の様々な場面で目標をもってひたむきに頑張っていますか」という問いへの肯定的な回答は、昨年度とほぼ同じ 77%に止まり、未だ改善の余地が大きく残ります。上位に並ぶ「自主自立の姿勢」(38%)、「学力・知力」(33%)、「協調性・社会性」(30%)についても期待に応えるべく最善を尽くします。

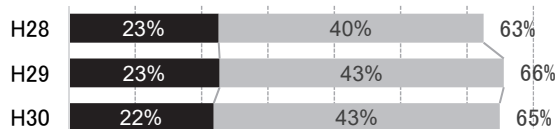
Q 今後、子どもに獲得させたい資質はどれですか。



「学校にさらなる充実を求めたいものは何ですか」という別の質問では、「進路指導や就職支援」(68%)と「学習指導や学力向上」(67%)を選んだ保護者が最多です。生徒による学校評価アンケートでは「自分は目標をもってひたむきに頑張ってきたと思います

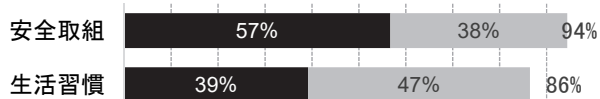
か」という質問での肯定率は昨年度を7ポイント上回る74%となり、改善の余地が残る結果ながら、学校を挙げて取り組んできた授業をはじめとする教育改善は着実に成果をあげつつあると思われま。大きな変革が予想される社会にあって保護者の皆様の期待は益々大きなものになりますが、それに追いつくべく教職員一丸となって改善を加速させます。

Q お子様は、自分なりの目標や課題をもって日々の学習に取り組めるようになりましたか。



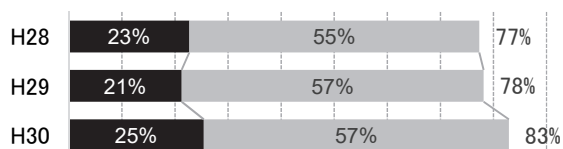
安全確保と規律ある生活の実現

「生徒の安全に対する学校の取り組み」と「高校生にふさわしい規律ある生活」の2項目については、引き続き高い評価を頂戴いたしました。高校生活の基礎・土台としてさらなる改善に取り組む所存です。今後の取り組みの中でご家庭のご協力を求める場面もあると思っておりますが、宜しくお願いいたします。



学校広報の充実のさらなる推進

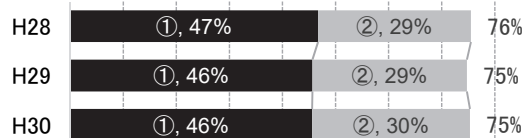
様々な教育活動に取り組むとき、その意図と方法、及び成果を正しく伝えることが重要と考えます。学校ホームページでは、紙媒体／文字ベースの連絡文書では伝えきれない生徒が活躍の様子を保護者の皆様にもお伝えすべく、Photo Roomを設けました。お時間の許すときにご高覧いただければ幸いです。今回、「連絡文書や懇談会などを通じて学校の様子は十分に知ることができるか」という質問には8割を超える肯定的な回答をいただきました。この項目で肯定的な回答をいただいたご家庭と否定的な回答となったご家庭では、他項目での評価に大きな差が生じます。今後も注力いたしますのでご期待ください。



ご家庭での対話に関する評価は直近3年であまり変化がありません。学校の様子を伝えきれなかった要因のひとつであると考えます。時期に即した対話の材料を不足なく提供することにこれまで以上に注力し、ご家庭での対話機会を作る策を講じます。

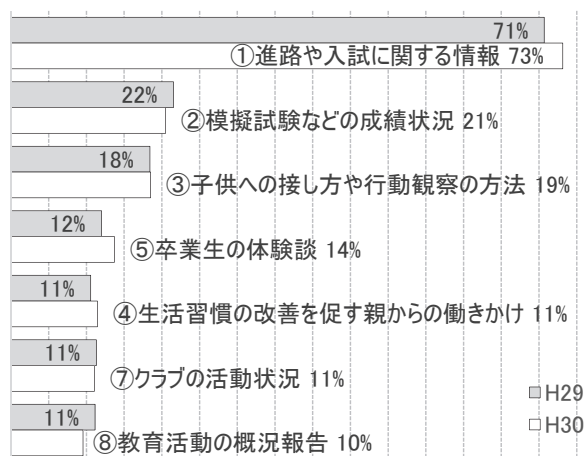
Q 進路希望や将来の職業あるいは学校での様子などについて家庭で話をすることはあるか。

- ①話をする機会がよくあり、保護者も関心をもって会話に臨んでいる
- ②話をする機会はあるが、あまり突っ込んだ話にはならない



保護者会などで取り上げて欲しいとするテーマは下図の通りです。年度により多少の増減はありますが、基本的には項目ごとの選択率の順序に大きな変動はありません。圧倒的多数の方が、進路や入試に関する情報を選んでいきます。コースや学年による違いも踏まえて、適切な話題・情報を適切なタイミングで保護者の皆様と共有できるよう運営に努めます。

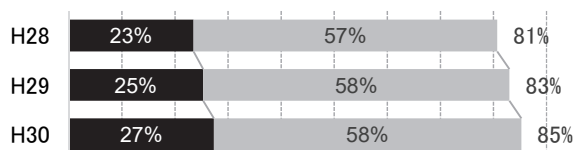
Q 保護者会やクラス懇談会で取り上げてほしいこと、充実を望むことはどれですか。



学校行事、部活動の指導

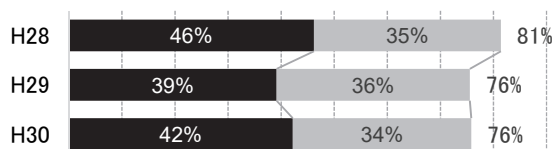
学校行事については、連続して評価を高めることができました。肯定的な回答は85%まで増えてきています。本校では、「生徒が主役！」の学校行事を、主体性や協働性が育む場と位置づけています。肯定的な回答のうち、「どちらかと言えば」という但し書きがつくものがいまだ大半を占めていることから、更なる改善が必要と考えております。

Q 学校行事が充実しており、行事についての様々な工夫や学校の姿勢が強く感じられますか。



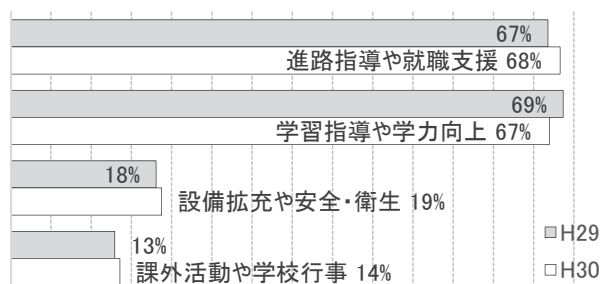
一方、部活動におけるクラブ顧問の指導は、昨年度に前年を5ポイントも下回る下降があり、改善に努めてまいりましたが、肯定的な回答率を高めることができませんでした。引き続き、改めるべき点の特定を急ぎ、ご期待に添える態勢を整えます。

Q 生徒の部活動に対して、クラブ顧問は熱心に指導していると思われませんか。



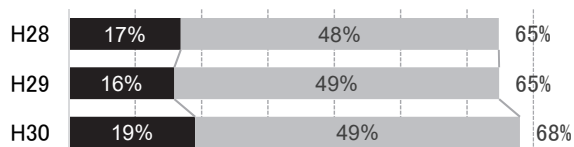
さらなる充実が求められるもの

Q 今後、学校にさらなる充実を求めたいものは何ですか。



前掲の通り、「学校にさらなる充実を求めたいもの」として、学習指導や学力向上を選んだ保護者が最多でした。ひとつの価値に偏ることなくバランスよく教育活動の充実を図っていきたいと考えておりますが、まずは圧倒的に多くの声が集まった学習指導や学力向上、進路指導や就職支援の2項目の充実優先的に取り組んでいく必要があると考えます。設備の拡充・再整備は現在急ピッチで進んでいます。

Q 学習指導は充実しており、学力向上に十分な成果を挙げていると思われませんか。



学校全体での肯定回答率は、昨年度を3ポイント上回る68%となりました。生徒による授業評価アンケートでは、「授業を受けて学力の向上が実感できるか」という質問で肯定的な回答が9割を超える授業が、この1年間で38%から58%に急増しています。保護者の皆様からは「わからない」の選択が例年通り15%ほどを占めており、学校を挙げて取り組んでいる授業改善の成果を十分にお伝えできていないことにも反省すべき点があると考えます。本校の建学の精神は、「全人教育」即ち、知育、徳育、体育のバランスのとれた教育ですが、その核となるのは何と言っても知育です。協働的な学習、生徒が主体的に参加する学びへの転換にむけて、研修と研究を重ねております。その成果を今後ご期待ください。

Q 進路指導が充実しており、生徒の希望進路の発見・実現に十分に役立っていると思われませんか。



昨年度の学校評価で集計値に低下が見られた進路指導は、わずかながら評価を回復しました。3カ年の計画的な指導をグランドデザインとして定立するとともに、薬・看護医療系を志す生徒や公務員を目指す生徒への支援プログラムも一層の充実を図っています。各フェイズの指導法、指導計画について担当分掌を中心とした研究を重ねると同時に、生徒、保護者に対して指導の実際や意図するところをきちんとお伝えしたいと思います。取り組みの進展は保護者会や学校HPでお伝えいたしますのでご注目下さい。

将来を考えた行動選択、共存の資質

学校評価アンケートでは、保護者の目を通した生徒の成長ぶりをお尋ねしています。「将来と結び付けた行動の選択」では学年が上がるにつれて肯定的な回答が占める割合が増えていきますが、1年から2年にかけての伸びが大きくないことが課題であり、本年度もその改善に取り組んで参りましたが、大きな効果は得られませんでした。今後は、ポートフォリオの導入を機に、生徒一人ひとりが自分の足跡とあり方を考える機会を拡充し、抜本的な改善を図ります。

一方、「立場の異なる相手に耳を傾ける姿勢」は例年通り、早いうちに身につけている生徒が多く、入学後も様々な経験を機に順調に推移している様子です。

Q 保護者の目から見てお子様は、自分の将来と結びつけて今なすべきことを考えられるようになりましたか。

	H28入学	H29入学	H30入学
1年11月	64	64	64
2年11月	66	66	
3年11月	80		

(回答分布を100点満点に換算して表示してあります)

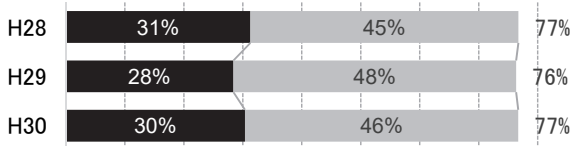
Q 保護者の目から見てお子様は、立場の異なる相手の意見にもちゃんと耳をかたむけるようになりましたか。

	H27入学	H28入学	H29入学
1年11月	74	76	76
2年11月	77	77	
3年11月	79		

(回答分布を100点満点に換算して表示してあります)

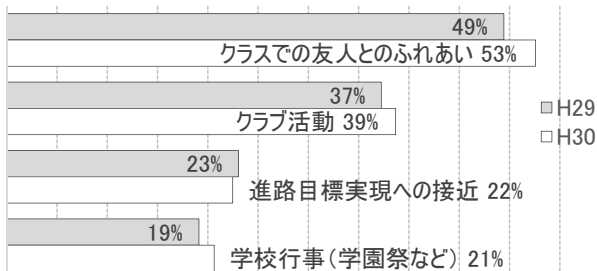
頑張る姿、意欲の原資

Q 保護者の目から見てお子様は、学校生活の様々な場面で目標をもってひたむきに頑張っていると思いますか。



「学校生活の様々な場面で目標をもってひたむきに頑張っているか」という質問への回答は、過年度とほぼ同じ水準です。現状で2割強の割合で残る否定的な回答の裏には「もっと頑張してほしい」との期待があるものと拝察いたします。この質問に肯定的な回答をしてもらうための大前提は「生徒が目標を持つこと」ですので、三か月先、半年先に控えるハードルや選択の機会に向けて用意を整えさせ、日々のタスクに挑む姿勢を作る指導を心掛けて参ります。

Q お子様が意欲や目標をもって学校に進んで通う姿勢を示している対象は何ですか。



保護者の目から見た子供の意欲の対象は、左下図の通り昨年までとあまり変わりませんが、生徒の回答では、ここ数年「学習や進路実現」の選択率が大きく上昇してきています。また、昨年度のデータでも確認できたことですが、「学習や進路実現」を選んだ生徒は、他を選んだ生徒に比べて総合満足度を尋ねた質問で肯定的な回答を選ぶ割合が顕著に高いことも近年の大高の特徴です。授業改善と進路指導の一層の充実を通して学力向上と進路実現に前向きに取り組む生徒を今以上に増やしていくことが、大高を選んでよかったと考える生徒を増やすと考えます。

育友会の活性化、保護者との相互理解

育友会は保護者と教職員の協力・連携の場として、生徒の健全な成長、教育の向上・発展を目的に平成に入って新設した組織です。その活動内容を知っている保護者の割合はここ数年33%前後で低迷しており、「活動内容に関心がある」とした保護者も44%→42%→41%→40%と徐々に減ってきているのが現状です。今後も活動の充実を図るとともに、活動を広く知っていただくことにこれまで以上に注力します。

	H26	H27	H28	H29
たいへんに関心があり、内容も分かっている	7.2%	8.3%	6.9%	6.7%
関心はあるが、内容についてはよくわからないことが多い	37.0%	34.2%	34.0%	33.0%
あまり関心はないが、活動の内容はある程度知っている	26.2%	25.5%	25.7%	27.3%
あまり関心はないし、活動の内容もよく知らない	29.6%	32.0%	33.4%	33.0%

保護者の要望・意見に対する学校の誠実な対応については、肯定回答率が83%→85%→87%と改善する一方、「わからない」も全体の3分の1を占めています。育友会に担っていただく校内広報の充実を図り、学校と家庭の相互理解を一層深めていく必要があると考えます。是非ともご協力をお願いします。

大阪高校は今後も改革を続け、地域の期待に応える学校、在校生・卒業生が今以上に誇りに思える学校を目指します。今後ともご支援とご協力をお願いします。

本報告書へのご意見・ご質問は下記にて承ります。

TEL:06-6340-3031 FAX:06-6349-3719

保護者による学校評価アンケート担当: 教頭 上山 陽